

## 所信表明書

公立大学法人福山市立大学  
理事長選考会議議長 様

公立大学法人福山市立大学理事長候補者となるに当たり、次のとおり所信を表明します。

2022年 8 月 22 日

名前 佐藤 利行

### 福山市立大学の将来ビジョンについて

「キャンパスは街、学ぶのは未来」というキャッチフレーズを掲げる福山市立大学は2011年に開学した。開学から今日に至るまでの間、社会は大きく変動している。想像もできなかった感染症の世界的な広がり、世界平和を脅かす不穏な動き、また確実に我が国に迫っている人口減少など、大学を取り巻く環境は決して安穏なものではない。

こうした中で、公立大学法人福山市立大学として為すべきことは、長期的な視野の下での確固とした将来ビジョンを描くことである。福山市に設置された大学として、地域社会で活躍する人材の育成、そのための柔軟な教育プログラムの提供、地域社会に貢献できるための研究力の充実強化、安定した大学運営を可能とするための経営基盤の拡充など、明確な将来ビジョンを持ち、これらを中期計画・目標に沿って着実に進めていかななくてはならない。

### 教育について

学部では、既存の児童教育学・都市経営学におけるこれまでの教育についての的確な評価を行い、優れた点についてはそれを更に伸ばすための方策、改善すべき点については、学部・学科の再編をも視野に入れた柔軟な教育カリキュラムの改革なども行っていく。

大学院では、内部進学も含め、広く外国人留学生・社会人を積極的に受け入れ、博士課程の設置も視野に入れた教育・研究を展開する。

また、人生百年時代と言われる今日、リカレント教育は大学が担うべき極めて重要な課題である。地元企業を中心として幅広く要望を聴きつつ、福山市とも連携して積極的にリカレント教育を行いたい。

### 研究について

大学として研究活動は、教育活動とともに重要なミッションの一つである。これまでの児童教育学・都市経営学で培われてきた研究力を更に充実・発展させるととも

公立大学法人  
福山市立大学

2022. 8. 22

第 78 号  
受附

に、地域から要望される研究課題について、第三者の助言も活用し、大学のシーズとマッチングさせて福山市立大学ならではの地域に貢献できる研究を構築し進展させる。更に企業や自治体、関連団体などとの共同研究を積極的に進め、外部資金の獲得にも繋げたい。

また、若手研究者・大学院生・学部生らのユニークな発想に基づく研究を支援するための仕組みを構築し、大学発の起業に繋がるようにする。

#### 地域貢献について

福山市に設置された大学として地域に貢献することは重要な責務の一つである。すでに実施されている様々な特色ある取組を更に充実発展させるとともに、大学の立地を活かした取組を積極的に進めたい。その実現のためには地域との連携を強固にすることが必要となる。それを可能とするためのコンソーシアムの構築を図っていきたい。

また、教員や職員、学生が積極的に地域に出向き、地域の人々と協働するための様々な貢献活動の実施を実現するために、その支援を積極的に行う。

#### 経営管理について

公立大学として安定した財政基盤を確立するための方策としては、受験料・授業料収入の増大を可能とする学部（学科）・大学院（研究科）の再編、地元企業を中心とした基金の獲得、卒業生を中心とする大学を支援するためのネットワークの構築、競争的資金への積極的な応募などが考えられる。こうした大学として独自に獲得できる資金を得るための様々な手段を工夫し、それを確実に実行したい。

大学運営に関しては、広く教職員の意見を聴くとともに、大学の構成員としての学生も参画できるような仕組みを構築する。

さらに、常に大学のあるべき姿、進むべき方向を学内のみならず、広く市民をはじめとする地域に発信することに努める。

上述の基本方針に従って、それを着実に実行し、福山市立大学を広く福山市民から愛され誇りに思ってもらえる大学、活気ある福山を創り福山を元気にする大学としたい。その実現のために、大学の最高責任者たる理事長兼学長として、今日までの経験を十分に活かし、福山市をはじめとする多様なステークホルダーからの幅広い支援を得られるよう全力を尽くしたい。

※所信は、公立大学法人福山市立大学の将来ビジョン、教育、研究、地域貢献、経営管理の基本方針について、3,000字以内で記載してください。

※用紙はA4縦版とし、横書きしてください。

※記入欄は、必要に応じて調整してください。

※理事長候補者選考の過程でこの所信表明書は公表されます。